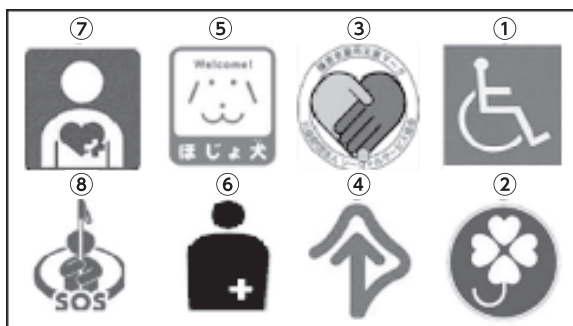


# マークの意味は？

(共生社会の実現をめざして)

次のマークの意味は、何か考えてみてください。



マークには本来、一目見ただけで、その意味を伝えることができるとは、その利点があります。しかし残念ながら、その意味が分からない人にとっては、不思議な図柄にしか見えないうでしょう。では、マークが示す内容を見ていきましよう。

① 障害者のための国際シンボルマーク：障がいのある人が利用できる建物・施設であること

② 身体障害者標識：肢体不自由者が運転する車両に添付するマークのこと

③ 障害者雇用支援マーク：在宅障害者就労支援ならびに障害者就労支援を認めた企業や団体に付与するマーク

④ 耳マーク：自治体・病院・銀行など、申し出があれば必要な援助が可能であること

⑤ ほじょ犬マーク：盲導犬・介助犬・聴導犬などの同伴が可能であること

⑥ オストメイトマーク：人工肛門・膀胱を造設した方が利用できる施設であること

⑦ ハートプラスマーク：外見ではわかりにくい身体内部に障がいがあること

⑧ 白杖SOSシンボル普及啓発マーク：視覚に障がいのある人を進んで支援しようとする運動のシンボルであること

このように、障がいのある人に関するマークはたくさん種類のものがあり、社会生活の中でその役割を果たしています。

例えば、障がいのある人にとって、いちいち障がいについての説明をしなければならぬ煩雑さと、心理的な負担が軽減されるといった利点が考えられます。また、施設や交通機関等を利用する場合も、このマークがあることで、安心の度合いが高まります。もちろん、有用なマークはこの他にもあります。しかし、それぞれのマークの意味を適切に理解していると言えない人は、まだまだ少数なのではないのでしょうか。

障がいのある人が住みやすい社会を築くことは、決して障がいのある人だけに利益をもたらすことではありません。安全性や利便性を向上させるといふ意味においても、子どもや高齢者を始め、すべての人に恩恵をもたらします。「障がいのある人が住みよい社会」をつくるという事は、すべての人が住みよい社会を築くということと同じなのです。

市人権推進課(市教育庁舎1階)  
 32・21122  
 FAX 33・35225  
 Mail:jinkensuisin@city.komatsushima-i.tokushima.jp  
 komatsushima-i.tokushima.jp

## 市民文芸 花みずき歌壇 (376) 松並敦子・選

遠くへと紙飛行機は飛べずとも満ち足りている形に落ちる

横須町 山崎 泰子

正月の空見あげれば凧昇り龍と書かれた文字空に映ゆ

田浦町 西 教明

手料理もこれが最後と心決め思いをこめてちらしずし作る

横須町 福島 夢栄

新聞よりアサギダラの写真切り額におさめて心おだやか

江田町 深田 伴子

岩屋寺の天空近き山肌の石に刻まれし不動尊なり

赤石町 田原トシ子

今朝の寒さに慌ててストーブこたつ出す何をするにも時間がかかる

榊町 松下 玉枝

洋蘭の鉢につまずき転倒す頭にニヶ所の傷を残して

横須町 三宅 敏恵

窓際で二匹の家猫うとうとと見ている私も和む休日

和田島町 瀧川 益美

舞台無く宴会もなく出番なし付下げの着物土用干しする

田浦町 太田カツミ

年末のじわじわ迫り最後となる喜怒哀楽の三年日記

立江町 湯浅かや子

慣れぬ手で初めて編みし注連縄に思いをこめて新年を待つ

田浦町 西 教明